

磐田NPO交流センター通信

平成十四年のNPO・市民活動をふりかえる

平成十五年新春、磐田市・福田町・竜洋町・豊岡町・豊岡村の一市三町一村の合併協議会が設置され、平成十七年三月までにひとつの市となる動きがますます加速されています。我々の磐田市が中心となって進んでいくことも大いにあるでしょう。また、他町村に学ぶこともたくさんあると思います。県下初の公設民営の磐田NPO交流センターを中心とした市民活動の動きは、磐田市からの発信として、これからも活発に語り合い、活動していかなければいけないと感じています。まもなく平成十五年度を迎えるにあたり、平成十四年のNPO・市民活動を振り返ってみたいと思います。

■「まちづくりサポーター制度」立ち上げる

平成十四年一月にまちづくりサポーター制度が立ち上がりました。この制度は、「まちづくりやボランティアの活動をしてみたい」、「自分の持つ知識や技能を地域に活かしてみたい」という「したい人」として「もらいたい人」を事務局（磐田市企画調整課）が「橋渡し」をするように

り、まちづくりやボランティア活動をより盛んにしていこうという制度です。

平成十四年二月十六日、静岡産業大学で制度開設記

中泉コンソーシアム：折り紙で遊ぼう



まちづくりサポーター活動実績

「磐田NPO交流センター通信」の編集発行	磐田NPO活動推進協議会
いわた大祭り(6月1日)会場警備	いわた大祭り実行委員会
ウィークエンドマーケットスタッフ(毎月最終日曜日)	磐田商店会連盟青年部
子どもたちと共に創る地域コミュニティづくり事業スタッフ	中泉コンソーシアム
静岡県ボランティア研究集会(平成15年2月8日静岡産業大学)スタッフ	磐田市社会福祉協議会
ふれあい広場(9月29日今之浦市有地)1日ボランティア	ふれあい広場実行委員会
オーストラリアからのホームステイ小学生付添い(9月24、25日)	磐田日豪友好協会
久保川清掃(11月17日)	あお空衆
クリスマス ゴスペル&JAZZコンサートスタッフ	文化会館友の会エアラス
川づくりネットワーク アンケート等	静岡県袋井土木事務所

念のシンボジウムが開かれました。これまで活動してきた、楠ヶ谷沼を考える会・見付宿を考える会・住みよい岩田をめざす会・レディス見付・NPO法人こどもの森の活動報告・公開討論が行われ、まちづくりサポーター制度を県下に発信しました。

市民会館友の会：12月 ゴスペルコンサート



平成14年2月16日 シンポジウム

平成15年2月6日現在のまちづくりサポーター数
個人100名、2団体(55人)
年代別・男女別/地区別

	男性	女性	計
10代	2	0	2
20代	1	5	6
30代	5	7	12
40代	8	15	23
50代	9	12	21
60代	16	12	28
70代	4	3	7
90代	1	0	1
計	46	54	100

地区	市外	市外
今之浦	1	豊田町 4
岩田	1	福田町 2
大藤	5	静岡市 1
於保	1	藤枝市 2
田原	3	焼津市 1
天竜	12	浜松市 3
中泉	21	アメリカ 1
長野	8	
西貝	5	
御厨	2	
見付	26	
南御厨	1	
市内計	86	市外計 14

あなたのまちにもサポーターがいますか？

サポーターの活動としては、六月一日見付の「いわた大祭り」にサポーター十一名が警備など行いスタートし、上記のものがありました。

■交流フォーラム2002開催

十月二十日には、交流フォーラムとしてまちづくりサポーター制度をテーマに、サポーターのみなさん・市民活動の依頼者のみなさんとこれまでの活動の報告と新たな仕事の依頼などを盛り込んだ交流会が開かれました。新たにまちづくりのグループに参加するサポーターや、少し活動をする

お休みしていた女性グループが、新聞のスクラップをかってくださるなど、フォーラムをきっかけにすこしづつ輪が広がっているのを感じています。

■磐田独自のまちづくりへ

しかし、まだまだ活発な活動であると胸を張って言えるものではありません。行政と磐田NPO交流センターとサポーターのみなさん、またこれに賛同してくれる市民のみなさんと協力して、磐田独自のまちづくりを創っていかねばいけないと思います。市町村合併では、いろいろな摺り合わせ事項に、行政も各団体も多く時間を割くことになるでしょう。まちづくりの現場は、止まることが許されません。自分たちができることを自分たちの手で改善していくこと、小さな輪を少しずつ大きな輪にしていく積み重ねが大切です。今年度は新たな仲間を広く求めていき、活動の場が広がることを視野にいれておくことも必要かもしれません。NPO・市民活動の活性化がこの地域のアイデンティティ(独自性)となるなんていかがでしょうか。



女性の会「クリッピング」の皆さん 1F交流スペースで掲示・ファイルしてあります

平成14年度 磐田NPO活動推進協議会の活動

- ・磐田NPO交流センター通信を年3回編集・発行(8月、12月、3月市内全戸配布)
- ・6月 利用者会議
- ・10月 交流フォーラム2002
- ・12月 NPO講座(磐田市委託事業と県地域講座共催)
講師 NPO法人夢未来くんま 大平展子氏
NPO法人浜松オーブンスクール 小笹真道氏
- ・協議会構成団体への協力
とんぼの里いわた実行委員会(4月21日)
いわた中泉コンソーシアム
磐南アドベンチャーワールド実行委員会(7月28・29日)
- ・第25回静岡県ボランティア研究集会(平成15年2月8日開催)実行委員会
- ・NPOの説明講座
5月 磐田ライオンズクラブ
- ・磐田のまちづくりについて講演
12月 掛川市社会福祉協議会 など

災害時広域ネットワーク づくりへ

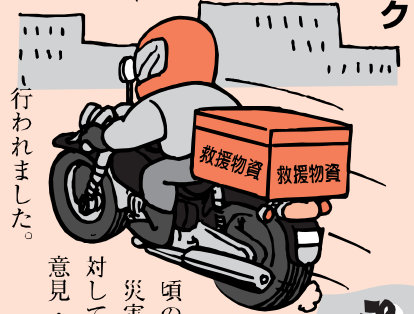
一月九日（金）、災害時活動ボランティア情報交換会が開催されました。

これは、平成八年から十四年の県主催の「災害ボランティアアコデーネーター養成講座」受講生の中で警南五市町村在住の有志および活動理解者二十名が中心となって活動している災害ボランティアアコデーネーター警南（以下警南）が、日頃から災害救援・防災に関わる地域のボランティア及び市民活動団体同士が「顔の見える関係」になる必要性を感じ呼びかけ、実現しました。

警南は現在、月一回の定例会、県防災訓練、消防署防火の集い及び磐田市地域防災訓練への参加などの活動を行っています。

災害時には、
・市役所内へのボランティアセンター立ち上げ
・県内外からのボランティアへの活動場所の紹介・調整
・他のボランティア団体からの情報収集と他団体への活動依頼等を担当します。

今回は、地震と災害を考える
大工の会、社会福祉協議会、磐田ボランティア推進連絡協議会、民生委員、中遠行政センター



まちづくりの現場から

行われました。

「市：一般市民の方々への認知度が低いのでは」「これだけのボランティアの人たちがいることを市へ知らせたい」「市だけでなく、自治会・一般市民へのボランティアの存在のアピールが必要」「市と研修会をやってみては」「様々な団体の協働があれば、自主防の活動の活性化が図られる」「災害は防げないが、人災は防げるはず」等の意見が出され、「この会合を通じてお互いの情報交換や、実際に顔を合わせて意見交換をしておくことが、災害時のスムーズな協働につながるのでは」という合意が生まれました。

の方々が参加され、日頃の活動紹介、災害時の活動に

対しての考え等の意見・情報交換が行われました。

組合、NPO法人災害救助火静岡、石油商業組合磐田支部、磐田アマチュア無線災害ボランティア、バイクボランティアネットワークがあるボランティアアコデーネーターがあげられています。また、今回掲載した団体以外でも災害時のボランティア活動に関する団体、個人の情報を待っており、平成十二年の東海豪雨の時に実際にボランティアとして出かけたという経験も踏まえて、将来的には、県外広域の諸団体との交流もしていきたいということでした。協働への道の第一歩を踏み出した警南と災害ボランティア団体の活動に期待したいと思えます。

問合せ先

災害ボランティア
コーデイナーター警南

代表 五十右 弘乃

(いみぎ ひろの)

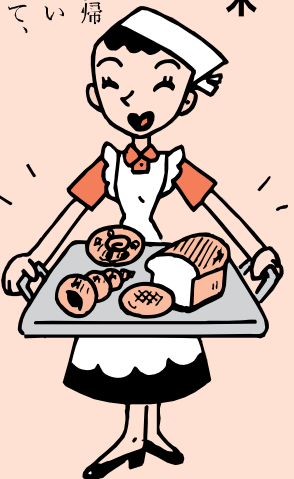
TEL・FAX (三三)六七九六

(まちづくりサポーター)一〇四六
齋藤直美)

NPO法人 ふれ愛ひろば くすの木

磐田市見付（本通り商店街）
にお店をかまえる『くすの木』。

ここは、障害を持つ人が社会復帰を目指して働く場です。美味しいパンを作っている現場だけあって、



楽しそうな雰囲気の中、理事長の田中さん

は「障害をもつ方がここに通うことで、精神的に安定してくるようだと、とても嬉しいですよ。」とお話くださいました。この日は、パン作りなどを教えるスタッフが四名、障害者が四名、静岡医療科学専門学校（浜北市）から研修生が二名計十名で、和気あいあいと作業をされていました。

四年前に『くすの木』が開店した当時から仕事をしている方が二名。その後増えて、現在四名が通っています。とても慣れた手付きでパンを作っていました。パン作りで一番難しいことは、「やけどをしないように熱いものに触ること」また、一番楽しいことは「自分が作ったパンをお客さんに買ってもらえること」だそうです。パン作り指導のスタッフの方は「最初から通っている方は、新しく入った方にパン作りを教えたり、面倒をみてくれるのでとても助かります。」と話していました。パン作りのお手伝いしながら、障害者のケア（社会復帰をする為のお手伝い）の実習に来ていた精神保健



ふれ愛ひろばくすの木のパンの店

福祉士研修生の太田さんは「くすの木の皆さん、とても手際がいいです！」と率直にお話くださいました。

パンを定期的に配達する所が六ヶ所（うち三ヶ所は毎日）あります。障害者の方が通院や、体調不良でお休みすると、パン作りが大変になってしまいます。平成十二年にはNPO法人となり、より組織的運営を目指していますが、みなさんの協力も求めています。

朝の準備を経て、焼き立てパンの美味しい香りがお店いっぱい立ちこめる頃、お店は営業開始です。焼き立てパンは午前十一時頃から販売です。お早めに！一個八十円からです。（土・日・祭日休み。予約も受け付けます。）

磐田市見付二六一一
TEL・FAX (三三)五一三〇
(まちづくりサポーター)一〇六七
堀部裕子)



ボーイスカウト磐田地区協議会

代表 地区協議会長

大橋 良啓 おおはし よしかる

事務局 事務局長 鈴木 均

磐田市中泉二二五九

TEL (三七) 八九〇六

設立 昭和二十六年四月

構成 スカウト数二百七十六名

成人指導者数

二百八十五名

活動目的・内容

子どもたちが野外活動をしなが
ら、体を鍛え、技能を身につけて、
社会に役に立つ人間になるよう努
力する。

会費 磐田地区には、十四ヶ団

ありますが、それぞれによって会
費や活動場所等は異なっています。

参加等 活動対象年齢は、幼稚園
年長から大学生までです。対象年
齢になれば、いつでも参加できま
すので、左記又は最寄りの団へ連
絡してください

連絡先 山形 俊子

磐田市富士見町二二八―十五

TEL・FAX (三四) 二八四七

磐田グラウンドゴルフ倶楽部

代表 海老江 吉次 えびえ よしじ

連絡先 磐田市新通町

TEL・FAX (三三) 三六九三

設立 平成四年

構成 八十六名

(男四十三名、女四十三名)

活動目的・内容

楽しく、仲良く健康で生涯スポ
ーツ競技としてグラウンドゴルフ
を行う事を目的とし、その主旨に
賛同し、振興する事を目標とする。
・会員相互の親睦と健康的なスポ
ーツ活動を図る。
・公的機関との連携推進活動を図
る。

・磐田市内外地域との連携とグラ
ウンドゴルフ活動を図る。

・練習会場の清掃作業、器具備品
の修理及び購入、整理、整頓を
する。

会費等 年会費 三千元

グラウンドゴルフ



参加・協力方法

磐田市民で二十歳以上の健康な

方

磐田ユネスコ協会

代表 久保田 泰正 くぼた やすまさ

事務局 磐田市役所 生涯学習課

TEL (三五) 四三二五

担当：匂坂

理事会事務局 吉岡 正明

TEL (三三) 二二三四

設立 昭和三十五年四月

構成 個人 百十名

(男六十名、女五十名)

法人 四十五社

活動目的

ユネスコ (UNESCO) とは、
国連教育科学文化機関のことで、
その英語の頭文字をとって呼称し
ています。磐田ユネスコ協会は、
教育・科学・文化の振興を通して
「世界の平和と安全の確立」を目

的とする国際的なユネスコ活動を
草の根レベルで支援する民間団体
です。

活動内容

現在、「郷土文化委員会」「国際
交流委員会」「広報委員会」の三
つの委員会で各種の事業を企画し
活動しています。毎年恒例のイベ
ントとしては、「わたしの町のた
からもの」絵画展、チャリティコ
ンサート、外国人留学生との交流
会、ベトナム寺子屋との交流、磐
田産業祭り (バザール)、世界遺産
ビデオ鑑賞会などがあります。

参加・協力方法

賛同される方には会員になって
いただき、できるだけ多くの活動
に参加されることを期待していま
す。もちろん義務としてではなく、
自由意志で参加していただきます。
入会・退会は随時受け付けます。

会費等

一般会員 年額 三千元
学生会員 年額 千円
賛助会員(法人) 一口 五千元
会員には(社) 日本ユネスコ協

会連盟新聞 (年6回)、磐田ユネス
コ協会新聞 (年2回) が配布され
ます。

科学養生協済会

代表 高 栄慧 たか えいけい

事務局 浜松市城北三丁目

三―四七 A―

TEL 〇五三(四六一)〇六〇二

FAX 〇五三(四六一)〇六〇三

磐田連絡先 吉澤 敬子

磐田市中泉三三三六

TEL・FAX (三三) 七八五二

設立 平成十三年二月二十八日

構成 正会員 十名

一般会員 七名

計十七名 (男十名、女七名)

活動目的

家庭実用の東医養生法に関する
普及事業を行うことにより、地域
住民の健康増進に寄与し、また国
際交流を図る。

活動内容

東医養生法に関する情報の収集
及び提供
東医養生法による健康に関する
人材の育成
無料講習会及び定期講習会

参加協力方法

活動目的に合うものであれば、
どのような形のものでかまいま
せん。

お気軽にお申し込みください。
会費等 年会費 三千元

(入会金なし)



INFORMATION

川遊び 久保川ゴミひろい

主催 あお空衆

内容 新幹線と二之宮保育園の間の磐田久保川 スーパーオカノ北側の岡田循環の橋から東、磐田福田線の水神橋から西の間の「磐田久保川」のゴミを収集します。

目的 自分達の住んでいる地域の川から下流へゴミを流さない、河川本来の姿と力を取戻そうと青空の下、毎月一回日曜日にゴミの収集を行っています。今年の活動日が決まりました。川の中は、手漕ぎボードで拾います。(潮の干満によって変更あり)みなさんの参加をお待ちしています。

日時 四月二十七日・五月二十五日・六月二十九日・七月二十七日

全て日曜日・九時から十一時まで
で・雨天中止

集合場所 二之宮保育園北側(駐車場可)
服装 長靴・手袋(軍手・ゴム製のもの最良)汚れてもよい服:長ズボン・長袖シャツ

問合せ先 世話人 山下自現(三三二)八九七二
山田龍次

「家庭教育について考える」講演会

主催 NPO法人

磐田ふれあい基金協会

日時 四月二十日(日)

十三時半から十五時
開催場所 磐田第一中学校 体育館
内容 小学生及び中学生の保護者を対象として講演会を行います。親と子のさすな、コミュニケーションのとり方等についての話をします。

講師 (財)モラロジー研究所

渡邊晋三氏

資料代 五百円

聴講したい方は事前に電話予約してください。

問合せ先 磐田ふれあい基金協会

(三六)〇八三三

見付宿たのしい文化展

主催 見付宿を考える会

日時 四月二十六日(土)

二十七日(日)

十時から十六時

二十八日(月)

十時から十五時

開催場所 磐田市見付内の公会堂・商店・寺院など

内容 昨年に続き、見付の街に十ヶ所前後の展示会場を設営し、見付にゆかりの深い文人の書画・陶芸・などの作品を展示する文化展を開催します。

問合せ先 見付宿を考える会事務局

(三四)二四四〇 竹下

ベッコウトンポ定量調査

主催 桶ヶ谷沼を考える会

日時 四月二十九日(火)九時半

五月三日(土)九時半

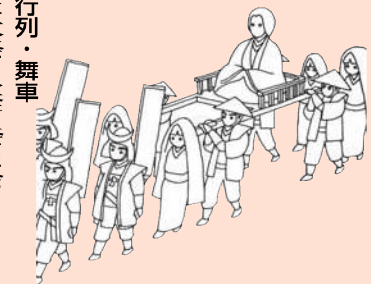
開催場所 桶ヶ谷沼

集合 仮駐車場

事業内容 桶ヶ谷沼でのベッコウトンポ成虫の全個体数を把握するための調査。

問合せ先 とんぼハウス

(三七)三八八八



遠州大名行列・舞車

主催 いわた大祭り実行委員会

日時 五月三十一日(土)

雨天予備日六月一日(日)

十二時半から二十時

開催場所 見付本通り及びその周辺

内容 十二時半 オープニングイ

ベント 見付音頭

十三時半 遠州大名行列

十六時 舞車おどり

十九時四〇分 舞車引き合わせ

・新舞

大名行列出演者・舞車おどり参加者募集中です。

問合せ先 市・地域振興課

(三七)四八一

坪井香野(つばいよしの)チェンバロ演奏会

主催 磐田ユネスコ協会

日時 六月一日(日)

十五時から十六時半

開催場所 ワークピア磐田

多目的ホール

内容 坪井香野さんは、磐田市在住のピアノ、チェンバロ演奏家。武蔵野音楽大学卒。現在、器楽・声楽のアンサンブル、伴奏者として活躍中。今回は、

チェンバロのために作られた曲を中心に、チェンバロの独特な音色を生かしたアレンジものに挑戦。

曲目 バツハのバルティータ一番、アルベニス朱色の塔、フランスのチェンバロ用小品など

参加費 千円(チケットをお求めください。)

問合せ先 磐田ユネスコ協会事務局

(三五)四三二五

または竹内芳子(三二)四三七〇

劇団かかし座

「お星さまの色えんぴつ」

主催 いわた子ども劇場

日時 七月十二日(土)

開演十四時予定

開催場所 ワークピア磐田

多目的ホール

内容 いわた子ども劇場の第九十八回低学年例会です。当会は、会員制で随時入会できます。月会費千円 入会金五百円 三才から会員になれます。

問合せ先 鈴木美津江

(三四)五三六七

または〇九〇(一四七七)〇二八八

ホームページ製委員会

主催 磐田NPO活動推進協議会

内容 磐田NPO交流センターに三月よりいよいよインターネットが導入されます。みなさんの情報収集にご利用ください。磐田NPO活動推進協議会では、ホームページを立ち上げ、情報発信もしていきたいと思えます。ホームページ作製の手伝いができる方は、ご連絡ください。

問合せ先 磐田NPO活動推進協議会事務局

(三六)一八九〇

担当 桜井

編集後記

静岡県ボランティア研究会へ参加しました。県内から集まった総勢五百名の方で静岡産業大学の校内は、熱気ある一日でした。NPO(Non Profit Organization)といってもボランティアな精神があつてこそその活動です。市町村合併への加速は、現場の意見をどのように聞いて下さるのでしょうか。

「待ち」の行政では、せっかくな動き出した磐田NPO交流センターを基点としたまちづくりやまちづくりサポーターの活動を進めていくことができません。福祉、ボランティア、NPO、教育といった分野を超えた市民参加のまちづくりに行政の意識と協力は必要です。

民間の我々は、啓蒙(けいもう)の虫のようにならねばならないです。

アイデア、お待ちしています。

(村上)



- 磐田NPO交流センター通信 第六号 平成十五年三月二十日発行
- 発行者／磐田市総務部地域振興課 〒四三八一八六五〇
- 磐田市国府台三一 TEL(〇五三八)三七一四八一一
- 編集／磐田NPO活動推進協議会 〒四三八一〇〇七八
- 磐田市中心一丁目 TEL(〇五三八)三六一一八九〇